

第66回 東日本医科学学生総合体育大会 夏季競技結果報告会を開催



(報告会の様子)

今夏開催された第66回東医体夏季競技にて、個人または団体で3位以上の成績を収めた運動部からの報告会が行われました。陸上、女子硬式テニス、女子バレーボール、柔道、水泳の5団体がそれぞれの成績や記録について学部長に報告をしました。

陸上 3名が入賞 大会新も

女子走幅跳で1年・服部さんが2位、男子1500mでは5年・北尾さんが3位、3年・吉城寺さんは男子200mで2位、400mでは大会新記録で優勝しました。

女子硬式テニス 団体戦2位 総合力見せた

女子硬式テニス部は団体戦準優勝。1年生から5年生が1人ずつメンバー入りし、学年間を越えた団結力の強さを見せました。14年ぶりの決勝進出でしたが、一步届きませんでした。

女子バレー 最高成績の2位 3名が個人賞

女子バレーボール部は準優勝。これまではベスト16が最高成績でしたが、その記録を大きく塗り替えました。1年・高橋さんがベストセッター、同・鹿島さんがベストライト、6年・青嶋さんが女子敢闘賞を受賞しました。

柔道 2名が入賞 2度目の優勝も

5年・川村さんが女子無差別級で優勝。川村さんは1年時の優勝に次ぐ2回目の優勝で今大会も無類の強さを見せました。4年・藤山さんは男子81キロ級で3位。藤山さんは小学校の時以来の柔道競技でしたが、猛練習で好成績を収めました。

水泳 2名が入賞 怪我を乗り越え優勝

男子50m平泳ぎで5年・原さんが優勝。昨年は肩のケガもあり、納得のいく泳ぎが出来ませんでした。今回はケガを乗り越えての優勝となりました。5年・田辺さんは男子バタフライ200mで2位、100mでは3位。田辺さんは両種目とも連覇を目指していましたが、惜しくも手が届きませんでした。